

令和7年度 事業報告(1)			
友の家	相談支援	地活	特定・一般相談
	開所日数 総日数236日 定員 60名 利用者数 (1日平均)(前年差) 電話 2,049名(8.7)(-0.7) 来所 275名(1.2)(+0.4) 生活支援 134名(0.6)(+0.3)	開所日数 244日 憩いの場 1,644名(6.7)(-0.7) レク 147回・432人(2.9)(-0.1) プログラム 75回・316人(4.2)(+0.5) ミーティング 103回(1.7)(-0.4) 情報技術 238名(1.0)(-0.1) ※麻雀の会・お茶会を廃止、週替わりの金曜プログラムを開始した。	指定特定相談(請求件数) 対象者数 46人 計画作成 48件 モニタリング 50件 指定一般相談 対象者数 0人 地域移行支援 0件(人・月) 請求合計 1,717,560円
ユニーク工芸	利用状況	作業・授産	全体
	開所日数 243日 定員 21名 利用者数 延べ1054名 1日あたり利用人数 4.2名	取引先企業 ジョイフーズ・東栄・コバヤシゴム	高齢化も進み、作業を日々続けて行う事、作業自体を行うことが厳しい方も増えてきている状況。今後作業日数を減らし、高齢の方も含めてできるようなストレッチ、軽い運動をして、まず通えるような体力づくりのサービス提供をしていきたいとも考えている
おいてけ堀かつば堂	利用状況	作業・授産	全体
	開所日数245日 定員 12人 利用者数 延べ1157人	総売上 501,300円 工賃総額 337,570円 1ヶ月平均 28,131円 外出 5月9日 いちご狩り 10月31日 キウイ狩り	製菓事業では、販売をスカイワゴンを中心に「すみだまつり」のふれあいバザー、NOUD曳舟での企画展、北斎美術館9周年イベントなど外部出店も積極的に行なった。R8年度から材料費高騰により250円→300円に値上げをする旨を関係先に知らせた。卵白活用のため月1回試作品作り(ラングドシャ/エンゼルスフォンケーキ新フレーバー)を行なった。利用者については、工芸メンバー2名の来所や電話相談などを受け入れている。今後も時代のニーズや気候(酷暑)に合ったプログラムを利用者の安全を確保しながら探していきたい。
ユニークジョブサポート	利用状況	作業工賃	プログラム・清掃作業
	開所日数 242日 定員 6名 利用者数延べ 179人	工賃総計 452,488円 平均 50,276円	PC教室 月4回 お弁当レク 年4回開催 (6, 10, 12, 3月) 銭湯清掃 週4回 1→0ヶ所 週1回 1ヶ所 月2回 1ヶ所 ビル清掃 週3回 1→0ヶ所 週2回 5ヶ所 週1回 1→3ヶ所 月4回 1ヶ所 月2～3回 2ヶ所 月2回 5ヶ所 月1回 3ヶ所
ユニークジョブサポート	利用状況	作業工賃	
	開所日数 242日 定員 14名 利用者数延べ 2091人	工賃総計 2,473,000円 1人平均 23,688円	
おいてけ堀LANA	問合せ 墨田区 2件 江戸川区 8件 江東区 2件 その他 3件	見学 墨田区 2件 江戸川区 6件 江東区 2件	体験 墨田区 1件 江戸川区 1件 江東区 1件 狛江市 0件
	入居 墨田区 2件 江戸川区 1件 葛飾区 1件 狛江市 1件 江東区 1件	退居 1件 入居 1件	

令和7年度 事業報告(2)		社会福祉法人おいてけ堀協会
全体	・通年で利用者不足。 ・スタッフの募集をかけているが、決まらず。 ・かっぱ堂の物件は退去はなくなり更新。修繕をしてもらう条件で家賃値上げに応じる。転居はしたい。 ・12月に東京都の指導検査があった。	
友の家	◎全体総括 ①憩いの場・電話相談共に減少が続いている。来所相談のみ増加、生活支援に伴うものが多かった。 ②昼食会・1日レクなど従来の人気プログラムも参加者が少なくなっている。 ・職員人事 …田村（非常勤）退職、杉本休職（下期） →代替の配置ができず、職員配置がギリギリの状態が続いた。 ・地活・相談事業（区委託事業） …麻雀の会、お茶会を廃止し、週替わりの「金曜プログラム」を開始。参加状況をみながら内容の差替えを行うようにした。夕食会は不成立が続き7月より休止。 ・指定特定相談支援事業（サービス利用計画の作成とモニタリング） …新規0ケース、終了5ケース（うち本人死亡1）、年度末契約数40人。職員休職によりモニタリングが滞った。 - 困難ケースや介護保険への移行寸前のケースが増加している。 － 村山：相談支援専門員初任者研修終了、8年度より一部ケースを担当予定。 ・指定一般相談支援事業（地域移行支援、地域定着支援） …新規の依頼はあったが、病院訪問などの長時間の支援に出られない状況のためお断りした。 ・その他 － 20代・30代の方、女性の利用が以前より多くなり、数年前と大分顔ぶれが変わってきた。 － 北部の新支援センターConnect Baseすみだの開設にあたり、職員研修を受け入れ。1月より開設した。	
ユニーク工芸	工芸を利用している方も高齢化が進み、作業も大切ではあるが、継続して通えるようにストレッチ、ウォーキングし現在利用されている方の体力維持を目指しながら、誰もが取り組める作業の取り入れを考えている。現在利用されている方も、安定した利用が厳しい状況となっているため、今後も継続して新規利用の方の確保を目指す営業などをしていく必要があると考えている	
おいてけ堀かっ	製菓事業では、販売をスカイワゴンを中心に「すみだまつり」のふれあいバザー、NOUD曳舟での企画展、北斎美術館9周年イベントなど外部出店も積極的に行った。R8年度から材料費高騰により250円→300円に値上げをする旨を関係先に知らせた。卵白活用のため月1回試作品作り（ラングドシャ/エンゼルシフォンケーキ新フレーバー）を行なった。利用者については、工芸メンバー2名の来所や電話相談などを受け入れている。今後も時代のニーズや気候（酷暑）に合ったプログラムを利用者の安全を確保しながら探していきたい。	
ユニークジョブサポート	【利用者就職者・定着者数】B型から就職者1名。就職後他機関とも連携し、継続されています。数年前に就職された方からも再就職の支援依頼が来ています。 【清掃作業】さくら湯・・・2月末で作業終了になりました。 利用者の高齢化・通所の不安定さは今後も続いていくので、状態に見合った作業内容に変更していくことを考えました。作業現場や内容の簡素化に重点を置き、作業人員は複数名から少人数制あるいは個別への変更を、曜日や時間の固定された現場から天候に左右されにくく、条件に余裕のある作業現場を探していきました。現場への移動が難しい利用者もいるので、今後は所内でできる作業を取り入れていきたいと考えています。	
おいてけ堀LANA	・令和7年は、入居者が脳梗塞で倒れ救急搬送ということがあった。 ・緊急時の対応について改めて確認をしました。 ・今年度から義務となった地域連携推進会議を開催しました。町会の方の参加が難しかったことがあり、今後の課題となりました。 ・事務関係では、ポチバスを導入したことで様々な処理がスムーズになったことと、過去の間違えにも気づくことができた。 ・11月からの空室がなかなかうまらなかった。（見学や体験はありましたが難しい方が多かった）	